

## 法研論集第132号寄稿原稿一覧

| 氏 名   | 学 年        | 論 文 題 目                                                         |
|-------|------------|-----------------------------------------------------------------|
| 池谷 秀登 | 科目等履修生     | 生活保護法における自立助長の現代的意義(2)<br>―惰民防止から社会福祉的支援への展開―                   |
| 石川 里美 | 博士後期課程 2 年 | 会計上の資本区分の変容と会社法(1)<br>―国際会計基準と会社法の調整―                           |
| 大坂 賢志 | 博士後期課程 1 年 | 親子関係不存在確認請求と権利濫用法理(2・完)<br>―「藁の上からの養子」に関する最高裁平成18年7月7日判決を契機として― |
| 亀岡 鉦平 | 博士後期課程 2 年 | 食料・農業・農村基本法の問題点(2)<br>―立法過程からの考察―                               |
| 姜 永起  | 博士後期課程 6 年 | 韓国における企業買収<br>―近時の論議をめぐって―                                      |
| 権 奇法  | 博士後期課程 4 年 | 「公の施設」管理の外部化(1)<br>―指定管理者制度を中心に―                                |
| 田川 靖紘 | 博士後期課程 2 年 | 企業・組織内犯罪における正犯と共犯の区別(1)                                         |
| 尋木 真也 | 博士後期課程 2 年 | 非国際的武力紛争における戦時復讐の存立基盤<br>―軍事的必要性及び相互主義の観点から―                    |
| 種村 佑介 | 博士後期課程 2 年 | 「不法行為のプロパー・ロー」理論の英国学説における展開について                                 |
| 千國 亮介 | 博士後期課程 3 年 | 人権とその制約原理について(3)                                                |
| 趙 京喜  | 博士後期課程 5 年 | 米国式証明商標の韓国商標法における実効性<br>―日本及び韓国制度との関連において―                      |
| 萩野 貴史 | 博士後期課程 4 年 | 刑法学における自由主義と不作為処罰                                               |
| 韓 敬新  | 博士後期課程 2 年 | 会計処理基準の変更と「公正なる会計慣行」(2)<br>―旧長銀刑事事件最高裁判判決を契機として―                |
| 松田 正照 | 博士後期課程 2 年 | 起訴前身柄拘束制度の成立過程                                                  |